

DAIDO An Alumni Bulletin

同窓会報

2003
41号
1月1日

新春のご挨拶	2
支部情報	3
DTI情報	7
キャンパス情報	12
編集後記	

DAIDO INSTITUTE OF TECHNOLOGY



迎春

GOBYS



新春のご挨拶

大同工業大学 同窓会会長

園原 繁

新年明けましておめでとうございます。

同窓会員の皆様には、本年もまた、新たな目標と期待を胸に新春をお迎えになったこととご拝察申し上げます。

私ども同窓会も本年度で第1回短大生卒業時より41年、第1回4年生卒業生を迎えて以来、37年目となり、1万7千名を超える会員を有する同窓会として発展して参りました。

会員の皆様には中部圏の産業界を中心に、全国各地、多方面に渡り活躍されています。このような状況の中で会員相互の親睦の和を広げる為に本部においては、新たな事業を企画しております。特に、支部活動においては、支部の活動が活発になれば同窓会全体の活性化が図れるという考え方に立ち、支部活動の支援をより充実していく必要があると考えます。

支部も一昨年、昨年と山梨、兵庫、東三河支部が発足するなど、活動も活発の度を加え、現在関東、大阪、豊田、静岡、北陸、四国、三重、滋賀、あいち、甲信越各13支部となり、毎年、懇談の場が持たれています。これらの場を通し、同窓会相互の交流を深め、情報交換される事により、会員各位の一層の発展を図られれば誠に喜ばしい事です。

さて、一昨年は新世紀の始まりの年という事で、戦争の多かった20世紀の反省から、特に、明るい平和な年と、世界中の人々が期待し、念願もした事でありました。しかしながら、現実には、この切ない願いも完全に裏切られた幕開けとなり、昨年も世界各地でテロ事件が絶えない年でありました。

国内では、底なしの不況が続く中で、殺伐とした事件も多く、暗い、すさんだ年でありました。

そうした現状の中で、会員各位におかれましては、厳しい環境の産業界で活躍をされている訳であります。このような産業界で働く我々技術者には、益々高い技術レベルが要求されます。

従って、日々是自己啓発に努め、幅広い情報収集を行い、自己を高める事が必要です。

同窓会をこのような情報交換の場として活用していただければ幸いです。

また、母校においては、一昨年に学園当局のご努力により、新キャンパスも完成し、素晴らしい施設が整い、教育環境が充実されました。

聞くところによりますと、昨年の入試状況は、他校に比べ受験生の割合が増したと聞いております。明るい話題であります。今後益々18歳人口が減少する中、母校を含め各大学共に、厳しい環境を迎えます。

大同工業大学の構成員の一躍を担う同窓会としては、母校の発展に貢献できるよう、一層の努力をしなければなりません。

今後とも会員の皆様方が益々のご活躍されます事をお祈り致しますと共に、同窓会及び母校の発展にご理解とご支援を賜りますよう切にお願い申し上げます。

★ Branch Information

東三河支部

支部長 彦坂修平

新年明けましておめでとうございます。

同窓会員諸氏におかれましては、すばらしい新年をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。



昨年は、私共東三河支部におきまして設立総会という大変な事を会員の皆様のご協力により無事盛大に行う事が出来ました。青山、岩田両教授、園原会長、宮本、田辺、名倉三方の副会長にもご出席いただき68~97生までの年次の同窓会員の皆様と時間の経過を忘れ先輩、後輩共々学生時代に返り、昔話に花がさいておりました。皆様とお話しながら次回の会合の折にも、必ず協力し合い今後もっと多くの参加を呼びかけましようとの暖かい励ましの言葉をいただき役員一同感謝の気持ちでいっぱいでありました。

今年の活動予定は、4月に春の懇親会、次期総会は、7月に予定いたしております。尚次期総会の折には、今後の活動内容を会員相互の意見を取り入れ、又他の支部の活動を学び充実した支部活動を行いたいと思います。今年も皆様の暖かいご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

最後に会員諸氏の益々のご活躍を心よりご祈念申し上げます。

滋賀支部

平成14年度滋賀支部総会の報告

支部長 藤枝俊樹

深冷の候 益々ご活躍の事とお慶び申し上げます。

さて、当支部総会、懇親会を10月19日(土)帰宅していただく時間等を考え、午後5時より開催しました。

開催に当たり、本部より杉浦常任理事、石川滋賀担当理事、支部代表から宮崎関東支部長、彦坂東三河支部長、田畑兵庫支部長の5名の同窓会役員の出席を賜りました。

支部としては、平成4年に発足し、表面上は、満10年を迎えますが私の怠慢で真の活動を行って無かった。心の何処かで総会の中身に拘り、結果的には昨年も出来ず仕舞いに成って居りました。

皆様のアドバイスも有り、心を改め、初心に戻り、先ずは1名でも多く集まって貰い、その時を楽しんで貰う事だけでも良いのでは無いかと考え、行いましたがその結果、予定していた終了7時半を大きくづれ結果的には9時近くに成り、その後もほぼ全員が二次会に参加し12時頃お開きになり、その後も三次会に行ったメンバーを持った様な状態でした。来年の総会は、本年度参加して貰ったメンバーをベースに参加者を増やし、一步一步滋賀支部としての形を整えて行きたいと考えて居ります。



兵庫支部
新春ご挨拶・支部総会報告・HP
その他

支部長 田畑稔幸

新年明けましておめでとう御座います。2003年の新春を迎え、同窓会員各位におかれましては、益々ご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。



さて当支部総会・懇親会を9月21日(土)午後6時より開催致しました。開催にあたり、本部より愛知久史氏・田辺幹知氏・高橋昌弘氏、支部代表として山口敏幸氏・杉橋俊彦氏・滝口新四国支部長の出席を戴きました。総会では、深川副支部長の司会進行により、①支部長挨拶 ②愛知副会長の挨拶 ③役員紹介 ④支部長会報告 ⑤13年度行事報告 ⑥14年度行事実施報告及予定 ⑦15・16年度行事案 ⑧質疑応答の順に進め、約30分にて無事終了致しました。

懇親会では、田辺副会長の挨拶・乾杯にて開始されました。懇親会の終了8時45分までは、自己紹介・粗品抽選会(全員に兵庫支部オリジナルリックサックを進呈)・カラオケと楽しく過ごすことが出来ました。

また、11月10日(日)開催予定の「大阪・兵庫支部合同ゴルフコンペ」は、参加者少数のため中止となりました事に心よりお詫申し上げます。

忘年会は11月23日(土)、西明石にある鬼蛸にて開催致しました。参加者は1年ぶりや初めて勇気を持って参加して戴いた91A川口健一氏を含め、10名にて2時間楽し

く過ごすことが出来ました。参加者全員には、高級ブランド腕時計を進呈させて戴き、喜んで戴いたことに支部長としまして、嬉しく思いました。

また、その席上での話し合いで、11月開催予定であったゴルフが中止となった為、兵庫支部単独のゴルフ親睦会を1月上旬に開催することになりました事をご報告致します。

平成14年度の兵庫支部年間行事も会員各位のご協力により、いよいよ終了に近づいて出来ました。平成15年度の行事遂行及び兵庫支部オリジナルプレゼントの進呈も昨年度同様進めて行きたいと思っておりますので、奮って参加ご協力をお願い致します。

支部長と言うボランティア活動の大変さは、会員各位全員には理解出来ないかと思いますが、新年度の支部行事には、自ら支部長の気持ちとなって1人でも多くの参加要請をして戴ければ幸いに思います。

最後になりましたが、同窓会会員各位のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

兵庫支部役員紹介

支 部 長	75E	田畑稔幸
副 支 部 長	86D	深川常治
副 支 部 長 補 佐	81E	川上 浩
広 報 部 長	92E	金子隆史
企 画 部 長	83M	大村一夫
	83A	西田茂浩
支部理事・副会長	65E	愛知久史
支 部 事 務 担 当	91M	高橋昌弘

平成15年度活動計画案(4月~)

平成15年	5月	特別企画(開催名未定)
平成15年	6月	潮干狩り大会又は釣り大会
平成15年	8月	ゴルフコンペ又ゴルフ親睦旅行
平成15年	11月	総会・懇親会
平成16年	1月	新年会
平成16年	1・2月	新春兵庫支部会員ゴルフ親睦会

速報：兵庫支部情報を私設HPで公開していますのでご覧下さい。私設HPより同窓会にアクセス出来ます。
<http://www.geocities.jp/tabata956/>

山梨支部
総会 開催報告

支部長 藤井 豊

新年を迎え、会員各位の皆様におかれましては、日々お忙しくご活躍のこととお慶び申し上げます。

平素は、山梨支部活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

山梨支部では、去る8月3日(土)に、甲府市内の積翠寺温泉「要害」にて、本部より園原同窓会会長、名倉副会長、神谷常任理事、支部より宮崎関東支部長の皆様方にご出席いただき、支部総会及び懇親会を開催致しました。

今回は74Eの流石さんと87Mの中山さんの奥さんが参加され、懇親会に花を添えてくれました。また、平成11年に卒業された95Eの桑原さんが、仕事が終わって疲れているところ、1時間以上かかる遠いところから懇親会に駆け付けてくれました。

各々が自己紹介し、話をしていくうちに同じ研究室の先輩・後輩だったことから、話が盛り上がり、今まで大学のキャンパスと一緒に居たような感じに打ち解け、年代に関係なく話は尽きず、時の過ぎるのもわずれ和気あいあいと話に花が咲いていました。その後、出席者のほぼ全員が二次会に行き、各自の持ち歌を披露したり、覚えての歌を練習したりと大変盛り上がっていました。

これからも、家族が参加できる楽しい行事を企画しますので、一人でも多くの参加をお願いします。

最後に、当支部総会に快くご出席いただきました園原同窓会会長を始め、名倉副会長、神谷常任理事、宮崎関東支部長そして懇親会に花を添えてくれた流石さんと中山さんの奥さん、仕事で疲れているのに、遠いところ駆け付けてくれた桑原さんにこの紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

豊田支部

支部長 山本由和

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、益々清栄のこととお喜び申し上げます。経済状況は出口の見えない長いトンネルから抜け出せないまま、生産の海外へのシフト、コスト低減、納期短縮等さまざまな熾烈な競争を強いやられています。

こんな時こそ会員相互の交流と情報交換がより一層必要かと感じます。支部総会、懇親会を2月23日予定しています。多くの参加を期待します。詳細については後日案内させていただきます。

今年は支部活動が昨年より活性化していきたいと思っております皆様のご意見、ご支援をよろしくお願いいたします。

信越支部
報 告

支部長 梶 義広

あけましておめでとうございます。

さる11月30日(土)に、第5回信越支部総会ならびに懇親会をロッジ樹林で総勢12名の参加され、特に北陸支部長 南氏、山梨支部長 藤井氏、あいち支部長 山口氏と富山県人2名を向かえて、盛況に行われました。

なお、懇親会での話題としては、北陸支部から富山支部として独立したいと富山県人の谷井氏から相談があり、いろいろ話し合った結果、北陸支部長、山梨支部長、あいち支部長と信越支部長も富山支部設立に賛同され、発起人の谷井氏から3月ごろまでに、同窓会本部へ富山支部設立申請いたしますので、各支部長にご指導ならびにご協力依頼がありました。

関東支部

支部長 宮崎定典

新年明けましておめでとうございます。

同窓生の皆様には今年に賭ける心意気は世の中に「負けてたまるか」の一言だと思えます。自分にも言聞かせています。現実ほど厳しいものはありません。

でも「夢」を持ち続ける事によって、笑顔、元気、明るさ、プラス思考が甦って来ます。仕事も同じだと思います。資料によりますと、30年前、高度成長期、日本の会社は90万社、その中で黒字会社が60万社(70%)、そこで新産業に雇用が出来たのです。でも今は285万5千社黒字会社82万3千社(28.5%)の内黒字ギリギリの会社も多い、残り200万社は赤字です。企業のサイクルは30年と云われ、今まで頑張ってきた大企業も下りのエレベーター、エスカレーターに乗っている状況です。新しい産業を作らず、雇用の持続は難しい時代なのですが、日本は世界から見ると物凄いお金持ちで豊かな国なのです。

全世界の金融資産の内35%、1440兆円を持ち全世界の人口の約2% (日本総人口) で保有している世界一ウルトラリッチの国なのです。何故金持ちなのに消費が悪いのかと言うと、全ての商品が各家庭の中にあるからです。必要としないのです。

又、このお金を持っている方が60才以上70%50才以上20%この人達が必要とする商品であれば、又、社会貢献社会の時流に合致する物であれば消費が拡大するし、又、新産業も雇用も増大する時代になると述べています。他にも多々の方法もあると思いますが一例として皆様には分かり切っている事を記させて頂きました。御参考になれば幸いと存じます。日本も未だ未だ捨てたものではない、必ず我々の知恵、想像力で新産業に続いていくと確信しています。我々大同工業大学の皆様から世の中のニーズに答える確かな商品が生み出されると信じています。

大きな夢がもうすぐ実ります。2006年、宇宙ステーションの完成が予定されています。NASDAの計画に重要な役職に就かれている我々、澤岡昭学長の功績を大いに

自慢し、大いに誇りに思い各方面にお伝えしステーションの完成を願い、学長の宇宙への出発をケネディー宇宙センターよりこの目で見たいし、又皆様と応援して行きたいと思っています。

今年の第22回 大同工大同窓会関東支部会を6月28日(ラスト土曜日)に澤岡学長をお迎えし午後4時から浅草、葵丸進にて開催致しますので、今年のカレンダー又手帳に記人を忘れないで下さい。普段着での多くの方の出席をお待ち申しています。

今年も、皆様方の御健勝と御多幸を心よりお祈り申し上げ、年頭の御挨拶とさせていただきます。

北陸支部

支部長 南 東基

新年明けましておめでとうございます。新春の候、会員の皆様におかれましては、ますます御健勝の事とお喜び申し上げます。

平成14年度北陸支部総会を、4月20日に『越前赤坂』にて開催しました。本部より田辺副会長と支部担当委員の矢野助教授に御出席頂き、盛大で和やかな内に会を進める事が出来ました。

さて昨年、本学では時代の要請に沿った情報学部情報学科が誕生し、今迄の工学部だけの大学から、次元の異なる学部が複合した大学に生まれ変わる第一歩を踏み出しました。卒業生の一人としても、各分野で活躍される人材が増えてくる事は喜ばしい事でもあり、この少子化が進む時代、人気、魅力を兼ね備えた学科を作っていくのは、私学経営の上でも必要な事と思います。それから私の世代はIT関連に関わるのが、どうしても年を経たからという方が多いでしょうし、近い将来にも私自身が本学の情報学科の卒業生の後輩に、教を乞う機会も出てくるだろうと今から楽しみにしております。

最後に本年度の支部総会はまだ期日未定ですが、北陸の雪が去り暖かくなる頃に開催する予定ですので、御参加をお待ちしております。

あいち支部

2003年新春のご挨拶

支部長 山口敏幸

2003年新春、大同工業大学同窓会員の皆様には年頭のご挨拶申し上げます。昨年はあいち支部の活動に、大学本部並びに各支部の方々には大変お世話になりました。誠にありがとうございました。本年も昨年同様お力添えをいただきます様、宜しくお願いを致します。

今年の経済状況も余り昨年と変り映えない状況よりも、より深刻な状況かも知れません。事業を担う同窓会員の皆様のご苦勞に対し労いたしたいと思います。

昨年11月16日には第11回大同工業大学同窓会、あいち支部総会を開催させていただきました。席を盛り上げていただきました澤岡昭学長を始め小野二朗常務、岩間三郎副学長、愛知久史助教授、支部の方からは信越支部長、兵庫支部長、東三河支部事務局長に感謝をいたします。

次に、あいち支部の平成15年の活動計画をご報告いたします。

平成15年3月 フォーラム

大同工業大学 井上教授による新製品

大同工業大学図書館の一般公開のお知らせ

本学では地域に開かれた大学図書館をめざし、より広く卒業生や学外者の調査・研究および生涯学習を支援することを目的に図書館の施設及び資料の一般公開を行っております。

卒業生の方であれば閲覧だけでなく図書の貸出も行います。ご来館の際には、身分証明書等をご用意ください。入館時に簡単な手続きをしていただければ、自由に図書館の資料を利用することができます。なお、詳細については、大同工業大学図書館ホームページをご覧ください。

<http://lis.daido-it.ac.jp/opac/index.html>

開発の裏話
平成15年5月 大学教職員と支部会員との親睦ゴルフ
平成15年9月 納涼会
家族バーベキュー大会

平成15年11月 あいち支部定例支部総会
平成15年12月 支部会員親睦ゴルフコンペ

以上の行事を予定しております。どうぞご参加いただきます様ご案内いたします。

また近々あいち支部のホームページを開設いたしますので大学本部とのリンクでご覧いただけるようにも準備をしております。今年もあいち支部を宜しくお祈り致します。



「平成14年11月16日(土)第11回あいち支部総会模様」

○開館日 月曜日～金曜日
○開館時間 8:45～21:10
但し、夏季・冬季・春季休業期間は、8:45～18:50の開館時間です。

○貸出

貸出冊数	貸出期間
3冊以内	7日間以内

○問い合わせ先 大同工業大学図書館
TEL 052-612-6873
FAX 052-612-6108

DIT Information

日置義明先生を偲ぶ

副学長・電気電子工学科教授 岩間三郎



日置義明先生（教務部長、電気電子工学科教授）は10月4日朝、急性心不全のためご自宅で逝去されました。享年57歳という若さでした。前日も普段のように仕事をされていた先生の突然の訃報に、大きな驚きを感じ、時の経過とともにそれが深い悲しみになりました。

日置先生は昭和48年3月、名古屋大学大学院工学研究科博士課程電子工学専攻を満了され、直ちに本学電気工学科の新進気鋭の助手として勤務されました。講師、助教授を経て平成6年より教授となられてからは、入試部次長、授業開発センター所員など、大学内の役職や重要な職務に当たり、とりわけ昨年の10月からは教務部長の要職に就かれて、本学の教育改革の推進役を果たして来られました。

本学へ赴任以来29年9ヶ月の間、日置先生は教育にも研究にも正面から立ち向かわれました。先生とともに時には苦しみ、時には喜び、その薫陶を受けた多くの卒業生は、今社会の様々な分野で活躍しています。

この30年間の数々の思い出を振り返ると、万感胸に迫ります。大同校舎の実験室では夜遅くまで学生と実験されていました。プラズマ理工学が専門分野で、最近ではプラズマ中に金属微粒子を浮遊させ、その相互作用の研究に精を出しておられました。実験装置は多くが手作りで、旋盤やボール盤の操作はもとより、プラズマ計測用のプローブも自らがガラス細工で作製したものでした。長年近くで拝見していて、そこに実験物理屋としての魂を感じることができました。ノッチング大学との国際共同研究をご一緒に進めることができたことは、お互いに楽しい経験としていつまでも残り続けることでしょう。

日置先生を偲ぶとき、何事においても真摯な姿勢であったことを忘れることはできません。授業の進め方、学生

実験・卒業研究の指導等を話し合うとき、先生はいつも学生の味方でした。学生の訴えや、悩み事を全部自分で受け止め、また、ご自身の本心を包み隠さず言葉にできる日置先生は、学生にとっていわばオアシスでした。学科の会議で発言されるときも、学生の教育について、先生の自問自答する姿が滲み出ていました。多くの学生から慕われたのは、先生が学生を心から愛したそのお人柄によるものです。

若い頃、よくお酒を酌み交わしながら語り合ったこと、タクシーを降りた日置先生が道路で大の字になったこと、また、大学祭や木曾駒ゼミナーハウスでは、学生たちと一緒に無邪気にはしゃいだことなどが今は懐かしく思い出されます。

日置先生の趣味の一つに「釣り」がありました。もうずいぶん前になりますが、私は一緒に海に出かけ、朝早くから小船に乗って糸を垂れました。さほど釣れた記憶はありませんが、小魚を釣り上げた先生は「もっと大きゅうなるまで」と言って優しく海に返しました。あのときのしぐさと言葉が鮮明に思い出されます。

最近釣りの話をほとんど聞くことはありませんでした。「また一度誘ってください」とお願いするつもりでしたが、もう叶わぬこととなりました。

実験室の前を通るとき、ガラス窓を通して、もうそこに日置先生のお姿はありません。会議を開いてもぼっかりと穴が空いています。しかし私達はこれから先、日置先生の情熱を引継いでいきますからご安心下さい。そして天国から、あの優しい眼差しでいつまでも本学を見守って下さい。

日置先生のご冥福をお祈り致します。

合 掌

入試室より

卒業生の皆様へ

新年明けましておめでとうございます。

常日頃は本学に対しまして格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

今年も本学推薦入学試験も終了し、学力系の入学試験がまもなくスタートします。時代にあった入試方法を実施するために、今年も入試方法に変更がありますので、簡単ですがご案内させていただきます。

入試速報は本学HPからでもご覧になれます。

◆奨学生採用で授業料が半額程度に！

入学試験成績優秀者は授業料が半額程度になります。

(M方式で15名、前期試験では30名が対象)

◆第2志望の入学検定料が昨年に比べて更に半額になりました。

(第2志望はプラス5,000円)

	M方式、前・後期	大学入試センター試験利用
第1志望のみ	35,000円	20,000円
第2志望を希望	40,000円	25,000円

◆学力系入学試験スタート！

日程は下記のとおりです。

入試種別	出願期間	試験日
M方式入学試験 (奨学生試験を兼ねる)	H15.1.9(木) ～H15.1.22(水)	H15.2.3(月)
前期入学試験 (奨学生試験を兼ねる)	H15.1.15(水) ～H15.1.28(火)	A日程 H15.2.7(金) B日程 H15.2.8(土)
大学入試センター試験利用 前期入学試験	H15.1.23(木) ～H15.2.3(月)	大学入試センター試験 H15.1.18(土) H15.1.19(日)
大学入試センター試験利用 後期入学試験	H15.2.17(月) ～H15.2.25(火)	本学独自の試験 はありません
後期入学試験	H15.2.24(月) ～H15.3.3(月)	H15.3.11(火)

◆「II型受験」を都市環境デザイン学科にも適用

II型受験は英語必須の入学試験です。従来の数学必須の「I型受験」に加えて新しい入学試験を用意しました。これにより情報やコンピュータ、まちづくり等に関心がある方なら高等学校で文系クラスであっても受験が可能になりました。

◇入試科目 (M方式・前期・後期入学試験)

【I型受験】(数学必須、他は選択)

工 学 部 機械工学科・情報機械システム工学科・電気電子工学科・建築学科・
都市環境デザイン学科I型

情報学部 情報学科I型

教科	試験科目の内容
数 学	『数学I・数学II・数学III・数学A・数学B』
外国語	『英語I・英語II』
理 科	『物理IB・物理II』、『化学IB・化学II』から1つ
国 語	『国語I・国語II(古文、漢文を除く)』

【II型受験】(英語必須、他は選択)

工 学 部 都市環境デザイン学科II型
情報学部 情報学科II型

教科	試験科目の内容
外国語	『英語I・英語II』
国 語	『国語I・国語II(古文、漢文を除く)』
地 理 歴 史	『世界史B』『日本史B』から1つ
数 学	『数学I・数学II・数学A』

皆様のご子弟、兄弟姉妹、ご親戚、知人あるいはお近くの方で、理工系大学の進学をお考えの方がいらっしゃいましたら、本学への受験をお勧めいたしますようお願いいたします。各入学試験の選考方法・内容等については、入試室までご一報頂ければ幸いです。末筆ではありますが、皆様のますますのご多幸とご活躍をお祈りいたします。

お問い合わせ先 【入試室】

フリーダイヤル 0120-461-115

FAX 052-612-0125

URL <http://www.daido-it.ac.jp/>

E-mail nyushi@daido-it.ac.jp

総合防災訓練

大同工業大学 防火管理者

総務部 庶務室長 石川常夫

明けましておめでとうございます。

皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、正月早々多少物騒な話ですが、愛知県では、東海地震について注意を喚起すべく呼び掛けがきています。

東海地震については、安政東海地震（1854年）と東南海地震（1944年）を比較するとまだ駿河湾内の地震エネルギーが解放されていないとの指摘から、駿河湾付近で大規模地震が起きるのではないかと学説が出されました。これが東海地震の起こると言われる根拠となっています。

大学では、今回、名古屋市南消防署と協力し、東海地震に備えた総合防災訓練を平成14年11月11日（月）、滝春新キャンパス本館で行いました。防災訓練の実施は、消防法等で義務づけられて

いますが、学生並びに教職員一人一人について生命の安全を確保する危機管理の面からも重要なことです。

今回行いました総合防災訓練については、滝春新キャンパス本館が名古屋市南区で唯一の高層建築（14階建て）であることから、非難を如何に行うか、またその時間



新規採用者紹介

- ・教養部外国語教室 講師 小西 章典 (H14.9.1)
- ・教養部人文社会教室 講師 柳原 克行 (H14.10.1)
- ・教養部教職教室 講師 小川 一美 (H14.11.1)

退職

- ・教養部人文社会教室 助教授 渡辺 博明 (H14.9.30)

ほどの程度かなど、今後、防災計画作成の参考とすることを目的として行われました。

防災訓練は、自衛消防隊長（学長）の命令により、消防署への通報、初期火災の鎮火、避難場所への避難及び負傷者の救護等の訓練を行うと同時に、名古屋市南消防署から駆けつけた指揮官車以下、タンク車、救護車、はしご車、救急車及びヘリコプターの合計7両・1機の応援を受け、実際の火災さながらの雰囲気で行われ、最後に「A棟からの避難が安全に早く行われ、防災計画策定の参考となる訓練」の総評を行い、無事に終了しました。

参加総数は、大学からは田中理事長、澤岡学長始め教職員80名、学生・大学院生366名の合計446名が参加し、名古屋市南消防署からは横川署長以下、隊員51名の応援を加え、497名と大規模となりました。なお、教職員の誘導により学生・大学院生が本館より避難しましたが、これは大学で初めての試みです。

ところで1995年の阪神・淡路大震災以後、地震防災に関する関心が持たれるようになってきました。大同工業大学が立地する愛知県名古屋市も所謂、東海地震の対策強化地域に指定されました。

今回の訓練を参考に大学では防災に関する規程並びに危機管理マニュアルを整備し、地震・火災による災害を未然に防止したり、最小に止めるための一助とする方針です。



訃報

- ・教養部教職課程 講師 谷村 亮 (H14.9.17没)
 - ・工学部電気電子工学科 教授 日置 義明 (H14.10.4没)
- 心より哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り致します。

大同工業大学の産学連携活動の取組み状況について

1. 産学連携共同研究センター（CRC）の概要

建学の精神

である『産学連携→社会への貢献』を組織的に進めるため、2000年

4月、『産学連携共同研究センター（以下CRCという）』を開設し、併せて事務組織としてリエゾンオフィスを発足させました。

産学連携共同研究センターでは、専門分野別に複数の教員および企業の研究者（共同研究員）とて『共同研究ラボラトリー』を組織し、企業の開発ニーズに対応しております。現在、生産技術、ナノテク・材料、環境、情報エレクトロニクスなど10研究分野で、合計24の共同研究ラボラトリーが活動しております。

3. CRCの実績

『産業界への貢献』という建学の精神に基づき、『企業ニーズへの積極的対応』という考え方で活動しております。

3. 1. 産学交流実績

この2年間、『共同研究・受託研究の活発化』、『中小企業家との交流』、『産学交流室、共同実験室の設置』、『共同研究ラボラトリー発表会の実施』、『短期インターンシップ』、『企業での卒業研究（連携大学院制度）』、『企業派遣学生の受入れ』、『各種展示会への積極的参加』、『CRCニュースの学外発信』等に力を入れてきました。

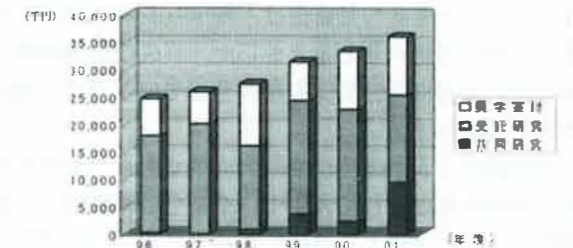
『中小企業家との交流』では、産学交流室への入室あるいは研究交流会等により、本学の教員と交流を進めてもらっております。その成果として、数件の共同研究・受託研究も生れています。

3. 2. 研究資金導入実績

企業からの研究資金導入実績を右上図に示します。こ



の6年間導入額は着実に増加しております。生産技術分野（36%）の導入比率が高いのが特徴ですが、ナノテク・材料分野（19%）、環境分野（17%）、情報エレクトロニクス分野（16%）への導入がそれに続いています。



4. 共同研究ラボラトリーのご紹介

既に述べましたが、本学の産学連携活動は、共同研究ラボラトリーを柱として進めております。研究費導入実績の多い共同研究ラボラトリーを、表1で簡単にご紹介いたします。詳細については、本学のホームページをご欄下さい。(http://www.daido-it.ac.jp/)

表1 共同研究ラボラトリーのご紹介

共同研究ラボラトリー	研究テーマ	対象技術・材料・商品
燃料電池ラボ	燃料電池の長寿命、高性能化	自動車用燃料電池 家電用燃料電池
先端加工システムラボ	薄板の剛性向上 薄板プレス成形時の除荷特性	自動車のボディ、足回り部品
臭気評価・制御ラボ	高齢者施設の臭気対策 調理臭の低減除去対策	天井・壁材料、空気清浄機、 フィルター、光触媒電灯等
スピエレトロニクスラボ	スピン制御によるGMR薄膜磁気センサーの開発	GMR磁気ヘッド
プロセス・シミュレーション研究ラボ	塑性加工の数値シミュレーション (圧延等)	圧延機のロール設計(冷却制御技術を含む)
建設生産技術ラボ	高耐久構造の研究/ステンレス鉄筋バーの力学的挙動の研究	ステンレス鉄筋バーの構造物への適用
衝撃破壊ラボ	接合部の衝撃破壊評価方法の確立 自動車材料の靱性支配要因解析	新接合技術 自動車材料

5. おわりに

私共のCRCも3年目に入りましたが、今後さらなる発展を目指すため、(1)本学の『ものづくり』の伝統を生かした産学連携の推進 (2)地域企業とのより密着した交流 (3)大学の研究の活性化 (4)知的財産の増加と活用 に力を注ぎます。その活動の中から近い将来『大学発ベンチャー企業』が多数誕生することを期待しております。(リエゾンオフィス)

募金の状況報告

大同学園創立60周年記念事業募金委員会

平成10年8月に卒業生の皆様に学園創立60周年記念事業の個人募金お願い申し上げましたところ、早速、多くの皆様からご賛同を頂き、ご寄附を頂戴いたしました。ご厚志のほど厚く御礼申し上げます。

ご寄附いただきました資金は、新キャンパス建設資金として大切に活用させて頂きました。平成12年度以降にご寄附頂いた皆様のお名前を報告させて頂き改めてお礼とさせていただきます。

この事業は、大学開校以来の大事業であり、まだまだ多額の資金を必要としています。卒業生の皆様には、引き続きご支援・ご協力をお願いします。

大同学園創立60周年記念事業募金者一覧 (平成14年11月末現在)

学籍	氏名	学籍	氏名
65M	坂野一敏	92D	加藤仁
65E	前田雅信	91M	安藤孝敏
85M	鳥居克巳	91C	小野田成孝
90MM	堀畑秀幸	69M	伊藤佳弘
62M	山野清市	67M	原田光康
82M	尾本伸光	80E	加藤正人
76E	石坂雅文	66E	名倉満雄
63M	佐久間正晃	65E	芝原孝郎
82E	横田博志	69M	南東基
67M	高津正秋	84E	藤田英治



Campus Information

クラブ活動情報

ハンドボール部

西日本インカレ(春季リーグ)最終結果

昨年は代表決定戦で惜しくも敗れましたが、その経験を生かし今年は一歩前進への戦いを進めてきました。

予選リーグにおいては九州1の福岡大学を相手に(大同工大17-19福岡大)と見事な戦いをしました。このことは全国区へ近づいたことを意味する大きな前進です。

決勝トーナメントへの進出はなりませんでしたが、各組2位が対戦する全日本インカレ出場決定戦において大同大22(9-10、13-4)14琉球大と大差で勝利し、見事全日本インカレの出場権を獲得することができました。

東海学生ハンドボール秋季リーグで2位!!

ハンドボール部の秋季リーグでの試合結果は下記のとおりです。

6勝1敗で2位となりました。次期の目標はいよいよ優勝です。みんなで応援しよう!!

月日	対戦相手	結果	勝敗
9/8(日)	愛知大	32-18	勝
9/15(祝)	愛知教育大	33-18	勝
9/22(日)	愛知学院大	22-20	勝
9/23(月)	名古屋大	29-13	勝
9/29(日)	中部大	12-20	負
10/6(日)	中京大	16-12	勝
10/13(日)	名城大	25-17	勝

全日本インカレでベスト8!!

やりました!!ハンドボール部が今年度の目標である全日本インカレベスト8を達成しました。

2000年4月に創部されて以来、毎年掲げた目標を着実に達成しわずか3年で全国ベスト8になりました。おめでとうございます。

メンバーの弛みない鍛錬はもとより、試合の度に応援に駆けつけて下さる皆さんの応援のおかげです。今後も活躍を期待しています。

なお、中部大に勝利した結果が日刊スポーツ(平成14年11月15日)に掲載されました。試合結果は下記のとおりです。

月日	対戦相手	結果	勝敗
11/13(木)	函館大	23-19	勝
11/14(木)	中部大	24-23	勝
11/15(金)	日本大	17-31	負

大会名:高松宮記念杯男子第45回・女子第38回 平成14年度全日本学生ハンドボール選手権大会

日時:平成14年11月13日(木)~17日(日)・開会式は12日(火)
会場:大阪府中央体育館11月13日-17日、大阪府立体育会館11月13日-14日

主催:財団法人日本ハンドボール協会・全日本学生ハンドボール連盟

主管:関西学生ハンドボール連盟・大阪ハンドボール協会

愛知学生ハンドボール選手権大会で優勝!!

愛知県各大学4年生の送別試合及び3年生以下新チームの強化(トーナメント大会)を目的とした標記の大会において下記のとおり素晴らしい結果を出しましたのでご紹介します。

1、大会結果

順位	チーム名
優勝	大同大A(レギュラークラス)
2位	名城大B(新チームレギュラークラス)
3位	中京大(新チーム1チームのみ参加)
4位	名城大A(4年生チーム)

2、試合結果

大同A(レギュラークラス)

月日	対戦相手	結果	勝敗
11/24(日)	名城C	16-10	勝
11/24(日)	中部大B	20-17	勝
12/1(日)	中京	25-12	勝
12/1(日)	名城B	19-10	勝

大同B(準レギュラークラス)

月日	対戦相手	結果	勝敗
11/23(土)	名学大	16-11	勝
11/24(日)	中部大C	17-18	負

バレーボール部

秋季リーグで1部残留を果たしました!!

バレーボール部は、平成13年度の春季リーグに再度(平成9年に最初1部リーグに昇格)1部リーグに昇格を成し、以降4シーズン(13年度春季・秋季、14年度春季・秋季)1部リーグで活躍をしています。

本年の目標は、1部リーグ上位リーグ上位進出を目指し練習に励んできましたが、故障選手に苦しみ1部7位に終わりました。今季の成績は入替戦まで出場するといった残念な結果ではありましたが、監督を始め選手一同には来年度春季リーグ上位獲得へのよい経験の場となり、再度「挑戦あるのみ!」の精神で試合に臨みたい。

教職員の皆様を始め在学生および卒業生の方々の暖かいご支援にお答えするよう日夜練習に励み、大同工大の名に恥じない結果を残したいと考えています。また、新聞には全試合結果が報告されますのでご覧いただきご声援をお願いいたします。

【平成14年度秋季リーグ試合結果】

月日	対戦相手	結果	勝敗
9/14(土)	愛知大	0-3	負
9/15(日)	中京大	0-3	負
9/22(日)	名院大	0-3	負
9/23(月祝)	愛院大	0-3	負
9/28(土)	愛教大	3-0	勝
9/29(日)	朝日大	2-3	負
10/5(土)	名城大	2-3	負
10/6(日)	名城大	0-3	負
10/12(土)	朝日大	0-3	負
10/13(日)	愛教大	2-3	負

【入替戦】

10/20(日)	岐阜大	3-0	勝
----------	-----	-----	---

テコンドー研究会

マッソギ(組手)マイクロ級で優勝

今年3月に発足したばかりのテコンドー研究会が下記の2大会において相次いで見事な成績を納めました。今後も益々の活躍を期待しています。

大会名	第4回長野県テコンドー選手権大会
主催団体	日本国際テコンドー協会 俊秀上田道場
開催日	平成14年10月6日(日)
種目名	マッソギ(組手) マイクロ級
成績	優勝
氏名	廣瀬晴夫 君(99M)

大会名	第3回中部テコンドー選手権大会
主催団体	日本国際テコンドー協会 俊秀上田道場
開催日	平成14年11月4日(日)
種目名	マッソギ(組手) マイクロ級 2部
成績	優勝
氏名	廣瀬晴夫 君(99M)

ダンス部

C級へと昇格!!

ダンス部が下記大会においてアマチュア・スタンダード・D級で優勝しました。おめでとうございます。出場メンバーは宮田敬三 君(99D)、原子和美さん(99A)の二人です。この優勝によりD級からC級へと昇格しました。次の目標としてはスタンダードB級への昇格と現在B級のラテンアメリカンでA級に昇格することです。頑張ってください。

大会名	中部日本プロ・アマ級別ダンス競技 富山大会
主催団体	財団法人日本ボールルームダンス連盟 中部総局
開催日	平成14年10月27日(日)
種目名	アマチュア・スタンダード・D級 ワルツ

陸上

東海秋季インカレ1万mで3・4位に入賞!!

陸上部が下記の大会で見事な成績を納めました。今後も活躍を期待しています。

(この大会は、ハンドボールやバレーボール等の秋季リーグにあたる大会です)

大会名	第29回東海学生陸上競技秋季選手権大会
開催日	平成14年10月26日(土)~27日(日) 2日間
場所	瑞穂公園陸上競技場

種目	氏名	結果
10,000m	大和立幸君 (01J)	31分07秒76 【第3位入賞】
	片桐雅樹君 (01E)	31分11秒90 【第4位入賞】
5,000m	大和立幸君 (01J)	14分42秒10 【第5位入賞】

第1日目(5,000m) 出場131名
部員6名中、5名が自己新記録達成
第2日目(10,000m) 出場53名

レーシングカート部

第7回全国学生カート選手権 SSDクラスで優勝!!

磯貝真典君(99M)が上記の大会で全国の強豪大学を抑えて見事優勝しました。おめでとうございます。

開催日等詳細は下記のとおりです。
開催日：平成14年8月6日(火)、7日(水)
場所：宮城県・スポーツランドSUGO
参加数：約100人
この模様は、カートスポーツ専門誌「JAPAN KART ; 218号(2002.10)」でも大きく取り上げられました。今後も活躍を期待しています。
この大会は1996年からスタートし、今では全国の学生カーターにとってすっかり夏の風物詩として定着しています。今回の優勝は第3回大会のFPOクラスで横地学君(卒業生)が優勝して以来の快挙です。>

就職指導部情報

【平成14年度就職戦線の特徴】

不況の長期化で、雇用環境が悪化し、大変厳しい状況下での就職活動を余儀なくされました。以下、本年度の就職戦線の特徴を要約します。

1、求人企業数の減少
ここ数年、微増を続けていた求人企業数は本年マイナスに転じ、前年比5%減の2300社となりました。しかも、その半数は、専門性を余り要求しない学科不問の求人(1100社)が占めました。なお、昨年からはじめたインターネットでの求人受付が増え、半数に達したことも時代の傾向を表しています。(就職希望者：学部660名、大学院30名)

2、採用活動の早期化
採用活動は年々早まり、1月からエントリー受付、2月~3月会社説明会、選考試験は大企業で4月~5月で終了、6月以降中小企業が本格化し、8月お盆休み前で終息、が一般的な図式でした。例年に比し、9月以降の追加求人が極めて少なかったも挙げられます。

3、採用の厳選主義
採用枠にとらわれず、必要な人材しか採らない。ペーパーテスト(一般常識、適性検査等)による足切りが定着し、実力のない学生には厳しい結果となりました。

4、インターネットの普及
学生の企業情報の収集やエントリーはもっぱら、就職情報サイトや企業のHPの活用が一般的となりました。一方、企業はHPで採用情報を公開し、公募による実力主義選抜を採る傾向にあり、学生は大企業を含め受験のチャンスは拡大しましたが、より実力が試されることとなります。この結果、応募形態は自由応募が増え、内定者の7割が自由応募、3割が大学推薦となりました。

5、学生の2極分化
意欲のある学生、早くから準備している学生は早く希望の会社に内定する一方、就職意欲がわかず、中々活動しようとする学生が増えているのも事実です。

6、内定率
学部平均で85%(11月末現在)と、過去最も厳しい状況です。反面、大学院は、早々と100%達成しています。なお、大学院生の主な内定企業は右表のとおりです。

【平成15年度企業説明会開催(ご案内)】

平成16年3月卒業予定学生のために、本学主催の企業説明会を次の通り開催します。

なお、今回、名古屋以外に、静岡(浜松市)、三重(四日市市)、岐阜(岐阜市)においても開催します。皆さんの勤務先企業のご参加をお待ちしています。

- 1、名古屋会場：平成15年2月26日(水)午後、名古屋国際会議場
- 2、浜松会場：平成15年3月3日(月)午後、浜松名鉄ホテル
- 3、四日市会場：平成15年3月5日(水)午後、ザ・プラトンホテル
- 4、岐阜会場：平成15年3月10日(月)午後、グランパレホテル

参加費：無料
対象学生：学部3年次生(900名)、大学院1年次生(50名)
問合せ・連絡先：就職指導部(小林、伊藤)
TEL 052-612-6230
FAX 052-612-6251
E-mail shushoku@daido-it.ac.jp

平成14年度 大学院生の主な内定企業

No.	企業ID	企業名	本社所在地	株式	資本金	従業員	NM	EM	BM
1	050028	大隈豊和機械(株)	愛知県江南市	1部	5961	513	1		
2	210184	サンウェブ工業(株)	東京都渋谷区	1部	13852	2400	1		
3	210115	㈱三五	名古屋市熱田区		608	1750	1		
4	310234	大豊工業(株)	愛知県豊田市	1部	4393	1470	1		
5	310045	大信精機(株)	愛知県常滑市		295	573	1		
6	310021	高島屋日発工業(株)	愛知県豊田市		1801	2400	1		
7	960028	トキコ(株)					1		
8	960027	㈱日鐵テクノリサーチ					1		
9	530103	㈱フジキカイ	名古屋市中村区		154	520	1		
10	530080	富士工器(株)	名古屋市中区		460	300	1		
11	610002	㈱丸順	岐阜県大垣市	2部	532	543	1		
12	010003	愛知電子(株)	名古屋市東区		208	333	1		
13	310064	大同特殊鋼(株)	名古屋市中区	1部	37200	6200	1		
14	520017	㈱日立システムアンドサービス	東京都大田区		1000	4400	2		
15	530204	富士通サポート&サービス(株)	東京都品川区		450	3350	1		
16	020214	石川島検査計測(株)	東京都品川区		220	301		1	
17	150350	㈱交通構造コンサルタンツ	三重県鈴鹿市		30	18			1
18	530187	不二総合コンサルタント(株)	静岡県浜松市		60	217			1

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては如何お過ごしでしょうか。

昨年は、米国の多発テロの報復戦闘、大物政治家の闇事件、銀行・企業の倒産あるいは小泉政権の景気対策の構造改革が足踏みした暗い情勢の中、本学では、工学部と情報学部の2学部に発展した明るい未来が見えています。

今年も、大同工業大学ならびに同窓会が更なる発展のために、会員の皆様方ご尽力を賜りますことをお願い致します。